

仙台市 農政だより

2021年 夏号



【発行】仙台市経済局農林部(農政企画課、農業振興課、農林土木課)

「仙台市農業施策基本方針」を策定しました

本市農林部では、「農業施策の方向性（H28-32）」に替わり、今後概ね5年間を見据えて取り組む農業施策の考え方を示す「仙台市農業施策基本方針」を令和3年6月に策定しました。

今後、目指す将来像に向け、以下の4項目を施策の柱として、方針に沿った施策を展開していきます。

◎は、重点施策

(1) 経営体の確保・育成

方針	地域農業を支える人材として多様な経営体を確保・育成するとともに、特性に応じた生産性の向上などにより経営力を強化する。
講ずべき施策	◎認定農業者や集落営農組織などの経営体の育成、円滑な世代交代・事業承継支援 ・多様な担い手の支援、就農促進のためのマッチング ・経営力強化に向けた専門家派遣や研修の実施、経営感覚が豊かな経営者の育成

(2) 生産基盤の強化

方針	農地の再整備や集積・集約、農業用施設の適正な維持管理などにより、良好な生産基盤の整備や保全、有効利用を進める。
講ずべき施策	◎西部地区におけるほ場整備の着実な実施 ・農業用施設の長期計画に沿った予防的な補修や更新 ・農地の保全と有効利用の促進 ・中心となる経営体への農地の集積・集約推進

(3) 魅力ある地域の形成

方針	深刻化する農作物への鳥獣被害について、イノシシ等の捕獲・処理を含めた対策の取組を一層強化するとともに、農業の持つ多面的機能の維持等に向けた共同活動の支援や農業資源を活用した地域づくりを促し、市民の農業との交流を図る。
講ずべき施策	◎鳥獣の捕獲や防除対策の強化、処分体制の整備 ・地域の共同作業における保全活動や技術導入の支援 ・農業への関心を高めるための情報発信、多様な農業体験等の取組への支援

(4) 収益性の向上と所得の確保

方針	将来に向けた経営戦略に基づき、高い生産効率を目指した農業経営の確立と効果的な情報交流やブランド力強化などにより農業所得の向上を図る。
講ずべき施策	◎市内産農産物の消費拡大推進、生産消費相互の情報交流の機会の強化 ・新商品開発等に係る伴走型支援 ・ブランド力強化や販路づくりの取組支援 ・安定的な生産体系の構築 ・収益性の高い品目の推奨、効率的な農業の取組支援

基本方針の詳細は仙台市ホームページをご覧ください。

○市HPトップ>>くらしの情報>農林水産業>農林水産業に関する施策・計画>
 仙台市農業施策基本方針



【農政企画課企画調整係(電話:214-8265)】

多面的機能支払交付金制度により地域の共同活動を支援します

多面的機能支払交付金制度は、農地の維持のほか、水路の草刈り・泥上げ、農道の路面維持、施設の軽微な補修、花の植栽による景観形成など地域の共同活動を支援する制度です。

現在、市内では52組織が農業振興地域内の農用地区域において活動しており、水路・農道等の保全管理に大きな成果を挙げています。

市では、今後も農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のため、地域の共同活動に対して支援していきます。

令和4年度以降、新たに制度への取り組みをお考えの地域の方は、下記へご相談ください。



高めよう 地域協働の力!

【農業振興課地域支援係(電話:214-8334)】

「仙台市旬の香り市」に出店しませんか

「仙台市旬の香り市」は、市民に新鮮な地場産農産物や農産加工品を販売することを通じて、仙台の農業を理解していただくために開催している直売会で、本市と市内の農業者等で構成する「仙台市旬の香り市実行委員会」が主催しています。

令和2年は、勾当台公園カフェ前で、6月から11月までの毎月2回、延べ13回開催しました。(例年はせんだい農業園芸センターでも開催していますが、令和2年は新型コロナウイルス感染症対策のために中止になりました。令和3年は10月までの期間中、毎月1回開催します。)

市内の農業者や農業者の団体で「仙台市旬の香り市」に出店を希望される方は、下記へご連絡ください。

また、「仙台市旬の香り市」に限らず、その他のイベント等への出店を希望される方は下記へご連絡ください。



旬の香り市(勾当台公園カフェ前)の様子

【農政企画課農食ビジネス推進室(電話:214-8266)】

台風などの災害に備えましょう

○事前の対策をしっかりと!

強風に備えて、施設では取り付け金具の点検や押さえひもによる固定をしましょう。露地畑ではべた掛け資材が風であおられないようしっかり固定しましょう。大雨に備えて、事前に排水口や側溝のゴミ・泥を除去し、排水が速やかに行われるようにしましょう。

○人命第一!

ほ場の見回り等は、気象情報を十分に確認し、大雨や強風がおさまるまで行わないようにしましょう。大雨等がおさまった後の見回りも、増水した水路等の危険な場所には近づかず、周辺の安全に十分注意して、慎重に行いましょう。

○水路の詰まりに注意!

台風通過後は切断された稲わらが水路に流れ込み、詰まることが多くあります。大雨等がおさまった後には必ず見回り、詰まりを除去しましょう。

【農業振興課生産振興係(電話:214-8335)】

地産地消 Instagram「とれたて仙台」をはじめました



とれたて仙台

仙台の大地の贈り物

7月5日から市の地産地消や農政についての情報を発信するInstagramアカウント「とれたて仙台」を開始しました。市内で行われる直売イベントの告知や仙台産農産物を使ったレシピの紹介など、様々な情報を発信していきますので、ぜひご覧ください。

また、ハッシュタグ「#とれたて仙台」がついた投稿のリポスト（共有）なども行っていきます。投稿に「#とれたて仙台」をつけて、仙台の地産地消を一緒に盛り上げていきましょう。



Instagram アカウント「とれたて仙台」

https://www.instagram.com/toretate_sendai/

【農政企画課農食ビジネス推進室(電話:214-8266)】

「農業支援施策の案内」を発行しました

農業者や農業を始めたい方などを支援するための補助事業などの施策や資金情報、関連制度の概要情報をまとめた「農業支援施策の案内（令和3年度版）」を発行しました。

市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

○市HPトップ>くらしの情報>農林水産業>広報誌等>
農業支援施策の案内（令和3年度版）



【農政企画課企画調整係(電話:214-8265)】

農作業中の熱中症に気を付けましょう

まだまだ気温の高い日が続くこの時期は、自分でも気が付かないうちに熱中症を発症している事例が多々あります。早めの対策で熱中症を予防しましょう。

マスク着用時は、
のどの渇きを
感じにくくなり特に
注意が必要です!

○こまめな休憩と水分補給を！

のどが渇いていなくても、こまめに休憩をとって水分補給をしましょう。
休憩時は日陰等の涼しい場所で作業服を脱ぎ、手首を露出させて体温を下げましょう。

○単独行動に注意！

なるべく作業は2人以上で行い、時間を決めて休憩の声かけをするなど、定期的に体に異常がないか確認しあうようにしましょう。

○マスク着用時に注意！

気温・湿度が高い中でマスクを着用した場合、熱中症のリスクが高くなる恐れがあります。
屋外での作業で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合は、マスクを外して作業を行いましょう。

○日頃の体調管理を大切に！

日頃の体温測定や健康チェックは、新型コロナウイルス感染症への対策に限らず、熱中症の予防にも有効です。睡眠不足や前日の飲酒、朝食を食べないで作業することは熱中症の発症に影響を与えます。体調が悪いと感じたときは、無理をしないようにしましょう。

【農業振興課生産振興係(電話:214-8335)】

「仙台枝豆プロジェクト」を進めています！



「仙台枝豆プロジェクト」は、生産地と消費地が近い仙台の農業の強みを生かした流通システムを構築し、朝に収穫した新鮮な枝豆を、その日のうちに飲食店や量販店で提供する取り組みです。

“今朝採りの鮮度の良さ”“良質”といった付加価値を高めることにより、生産者の収益向上につなげるとともに、市内の飲食店等で地元消費者等にPRすることにより、地域経済の活性化を図ります。

昨年は市内の51の飲食店、27の量販店で提供いただきました。

また、このプロジェクトで構築した流通システムを活用し、枝豆以外の仙台産農産物も飲食店に提供することで、地産地消への取り組みを強化していきます。

○今朝採り枝豆提供期間：【量販店】6月下旬～9月下旬予定

【飲食店】7月下旬～9月下旬予定

※提供店の詳細は仙台枝豆プロジェクトのフェイスブックをご覧ください。

【農政企画課農食ビジネス推進室(電話:214-8266)】



【仙台枝豆プロジェクト】
フェイスブックURL
<https://facebook.com/sendaiedamame/>

生産者インタビュー ～若林区六郷地区 針生修希さん～

「仙台枝豆プロジェクト」の仙台産今朝採り枝豆の生産者のおひとり、針生修希さんにお話を伺いました。

針生さんは就農して13年。枝豆のほか、レタスや雪菜などを栽培、出荷しています。枝豆はこれまでいろいろな品種を試してきたそうですが、収量や見栄えのよさだけでなく「これは美味しい！」と自分でも思えるものを中心に、品種をある程度絞って栽培しています。

収穫のタイミングも、過熟しすぎない勘所を見極めて、一番美味しい状態で消費者に枝豆を味わってもらえるよう心がけています。枝豆シーズンには、福島からも直売所に買いに来るお客様がいらっしゃるそうで、「仙台の枝豆の広がりを感じている。お客さんが待っていてくれると思うと嬉しい」と針生さん。

今年は、作付けを昨年のおよそ2倍に増やし、枝豆づくりにさらに力を入れています。昨年は、一昨年の洪水の影響で根腐れを起こしてしまったこともあったそうですが、今年はこれまでの生育状態は良好とのこと。今年も美味しい枝豆が期待できそうです。

『仙台＝ずんだ』のイメージが強いけれど、『仙台といえば枝豆！』と言われるくらい、仙台産の枝豆の美味しさをもっともっと広めていきたい！」と意気込みを話してくださいました。



針生修希さん

Midoriの取材日誌



はじめまして。今年度、地産地消情報発信を担当します、野菜ソムリエ上級プロの斉藤緑里です。多くの生産者さんにお会いして、仙台産農産物の魅力をどんどん発信していきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、今回お伺ひした針生さんのお気に入りの枝豆品種は『味風香』だそう。他とは違う独特の風味が魅力と聞いて、時期になったらお勧めの『味風香』をぜひ食べてみたくなりました！

【農政企画課農食ビジネス推進室(電話:214-8266)】

【発行】仙台市経済局農林部(農政企画課、農業振興課、農林土木課)

〒980-0803 青葉区国分町3丁目6番1号 表小路仮庁舎(仙台パークビル9階)

電話 022-214-8265 FAX 022-214-8338(農政企画課)

◆Eメール kei008110@city.sendai.jp(農政企画課)

◆HP <https://www.city.sendai.jp/kurashi/shizen/norinsuisan/index.html>



仙台市農林水産業ページ